

# 9月定例会 町政を問う 一般質問

## Q 来島診療所の今後 A 医師の確保を急ぐ



**安部 朋次議員**  
安田医師は、平成23年度より来島診療所長から飯南病院長となり、診療所の体制が変更された。診療所の特徴である、顔の見える診察、予防医療、

在宅医療がどのように変わるのか危惧される。

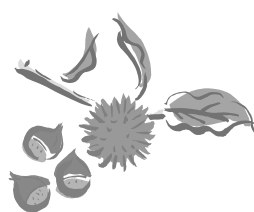
診療所は、飯南病院の運営状況によっては重要な医療施設だ。飯南病院の付属施設なのか、単独の医療施設なのかの位置づけを問う。

## 山崎英樹町長

本年4月より、来島診療所長だった安田医師に、飯南病院長として就任いただいた。

安田院長は、来島診療所で生きがい村という理念のもと、保健・医療・福祉の連携に努力されたが、その生きがい村構想は、飯南町全体の構想として位置づけることになった。

飯南町の医療体制は、飯南病院、来島診療所、志々、谷の出張診療所の地域医療を維持していくことが必要であり、来島診療所の医療機能は重要だ。その為にも医師の確保に全力をあげて取り組む。



## Q 公民館の体制は A 現在の形態を維持

**安部議員**

現在、教育委員会において公民館の体制について検討されているが、飯南町の公民館を、中央公民館として位置づけるのか、これまでの並列的な組織として継続するのか、体制について問う。

## 安部 巨教育長

現在、公民館の体制強化にむけて検討を始めているが、5館の体制が整った段階で、中央公民館的なの、町全体の公民館の体制の在り方を求めていくことになると思う。

中央公民館の検討はまだ始めているが、現在の公民館の基本形態は維持していく必要がある。

## Q 学習支援館周知を A 保護者はこれから

**安部議員**

高校生、中学生を対象とした、学力向上のための教育委員会として学習の場を設けて、生徒の学力アップを行う事業が展開されようとしている。

計画されてから、これまで関係する学校や保護者とのように協議してきたのか、特に両中学校の保護者に周知が、十分行われているのか。

## 安部教育長

学習支援館の位置づけは、本町が取り組んでいる保小中高一貫教育の、特に中高一貫教育を、よりスムーズにつなぐ事業と考えている。

中学校との協議は進めてきており、趣旨は全職員に十分に届いていると思う。

赤来中学校の生徒にのみ事前説明を行なっており、また、保護者への説明はこれからの課題であり、あらゆる機会を通して周知していく。



学習支援館の開校式  
(10月6日)

## Q 町政が楽観的では A 計画的に進める



**石原敏郎議員**  
山崎町政は楽観過ぎる。最悪のシナリオを考え、最良の対策や政策を打つべきだ。

また、職務責任を明確にし、職員挙げて緊張感ある町政執行にあたるべきだ。

## 山崎英樹町長

総合振興計画策定にあたり、人口減少などを想定し、今なにを為すべきかを計画している。

それぞれの立場で一定の責任を持って職務を果たして行くことが基本だということ、肝に銘じていく。

## Q 給与と相応の仕事 A 自覚して職務専念

**石原議員**

古来より「民のかまどを思いやる政治的なもの考え方」がある。町民のふところ具合を思いやり、町内の一般の人より恵まれた職員給与は、それ相応の仕事をして町民に還元すべきだ。

## 山崎町長

町内民間企業の給与体系は調査していないが、町民の暮らしについては一番に気をつけている。職員給与は高くて当たり前とは思っていないし、

## Q 新庁舎は再検討を A 建設は期日もある

**石原議員**

(株)琴引フォレストパーク(株)サブロ島根が倒産したが、2件とも町民は町長の説明に従わざるをえなかった。

新庁舎新築に関し、町政座談会で町長は、非常に狭い選択肢しか示さなかったが、これでは、またも町民は町長の考えに従わざるをえない。

私の意見を念頭におき、新築以外にも良い方法が

あることを、今一度真摯に考えるべきだ。

## 山崎町長

財政問題を主体にした狭い情報しか出していないの指摘は、その通りだと思ふ。

ただ重ねて言うが、やはり財政のことを考えれば、建設に一定の期日はあると思っている。



議員の質問持ち 時間は40分です。



立ちのぼる煙に町民のくらし

◆この外に、石原議員から次の2点の質問がありました。  
◆町長が結果の平等を求めるあまり本町は低位安定となっている。時には非情になつて政策課題の解決に当たるときだとして、見解を求めた。

◆山崎町政2期目もあと1年しかないが、産業は育っていない。新たな地域政策を実現する具体的行動指針があるのか、答弁を求めた。